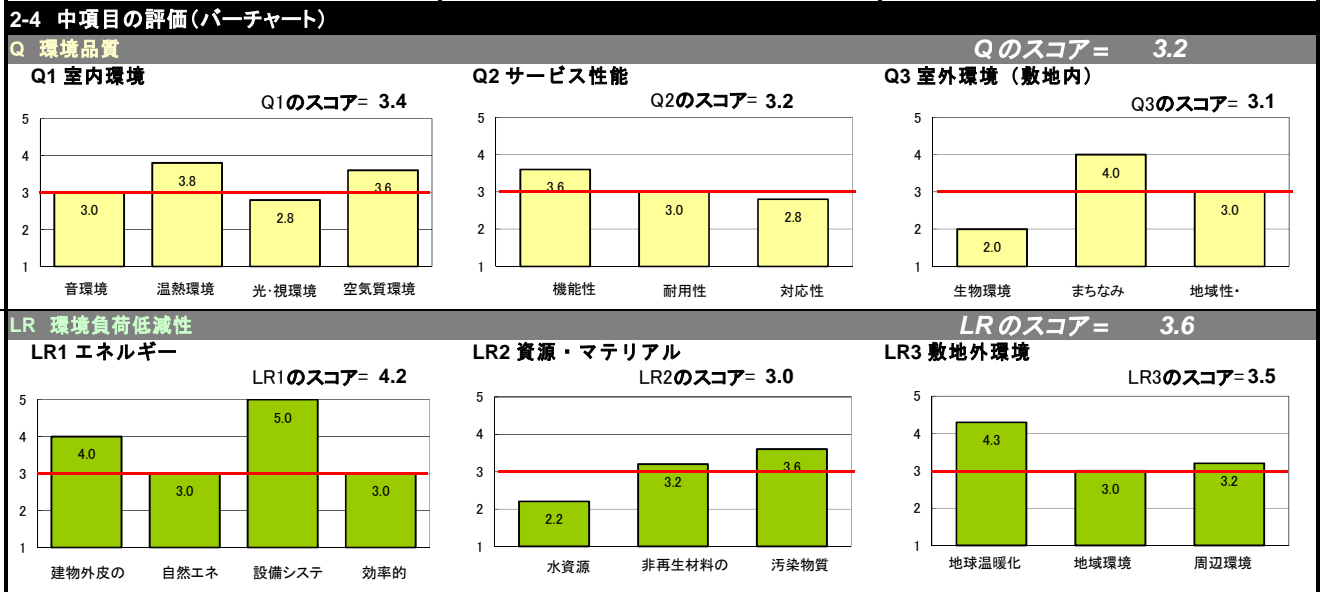
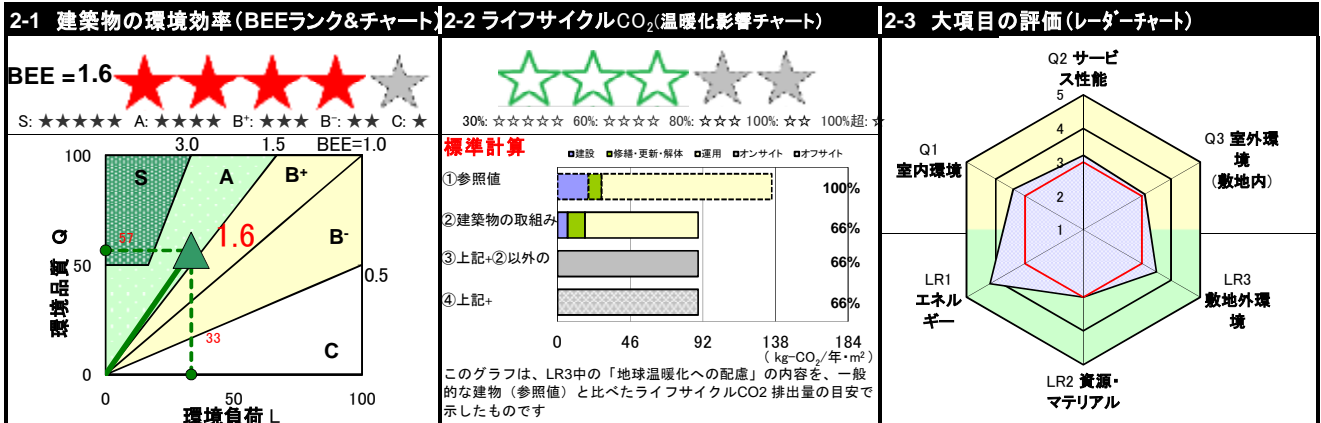


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)茨木市城の前町計画(東街区)	階数	地上14F
建設地	茨木市城の前町	構造	RC造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	770 人
地域区分	6地域	年間使用時間	6,160 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年9月 予定	評価の実施日	2019年9月2日
敷地面積	10,084 m ²	作成者	長谷工Co,中村
建築面積	2,851 m ²	確認日	2019年9月2日
延床面積	20,504 m ²	確認者	長谷工Co,中村

外観パース等
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項		
総合 地域との調和に配慮し、沿道緑化や計画地南側の西河原公園と一体的な広がりを持たせた緑地空間を計画し、潤いのある空間創りを行っている。また、温熱環境や省エネルギー性に配慮することで、長期的に良好な住環境を得られるよう努めている。	その他 特になし。	
Q1 室内環境 室内環境向上を目指し、断熱性能の向上や遮音対策等を施している。	Q2 サービス性能 更新性に配慮し、長期的な利用が可能な建物を目指した。	Q3 室外環境(敷地内) 緑地を敷地面積の20%以上計画し、良好な住環境の形成に配慮した。
LR1 エネルギー 日本住宅性能表示基準「5-1断熱性能等級」における等級4を取得予定。	LR2 資源・マテリアル 有害物質を含まない建材種別を採用している。	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ の排出量を少なくするよう努め、地球温暖化防止に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0082

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)茨木市城の前町計画(東街区) 新築工事					
	建設地	茨木市城の前町					
	用途/区分	集合住宅					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					A	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	建物の断熱性					4	
④	エネルギー削減					5	
⑤	自然エネルギー直接利用					○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告

対象外

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.3	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.0	4
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	—

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		